

## 地球温暖化対策特別委員会会議記録

地球温暖化対策特別委員長 亀卦川 富夫

### 1 日時

平成 23 年 1 月 19 日（水曜日）

午前 10 時 1 分開会、午前 10 時 12 分散会

### 2 場所

第 3 委員会室

### 3 出席委員

亀卦川富夫委員長、田村誠委員、佐々木順一委員、新居田弘文委員、大宮惇幸委員、

岩渕誠委員、小野共委員、佐々木大和委員、☆ 下正信委員、小野寺好委員

### 4 欠席委員

喜多正敏副委員長

### 5 事務局職員

武蔵担当書記、関口担当書記

### 6 説明のため出席した者

なし

### 7 一般傍聴者

なし

## 8 会議に付した事件

委員会の意見のとりまとめ

## 9 議事の内容

○亀卦川富夫委員長 おはようございます。

ただいまから、地球温暖化対策特別委員会を開会いたします。

喜多副委員長は欠席、佐々木順一委員は遅れるとのことでありますので、御了承願います。

これより、本日の会議を開きます。

本日は、お手元に配付いたしております日程により、会議を行います。

当委員会は、本日の委員会が最終の委員会となろうかと思えます。

つきましては、委員会がこれまで調査してまいりましたことについて、2月の定例会で報告を行うこととなりますので、この際、意見の取りまとめを行いたいと思えます。

お手元に、これまでの調査経過を取りまとめた資料と、報告の骨子案を配付しておりますが、取りまとめに当たり、何か御意見はございますかお聞きしたいと思えます。

随時、骨子案をお読みいただきまして、2年間の感想も含めて、御意見をいただければと思えます。よろしく願いいたします。

それでは、ひとつ皆様の方から御意見があれば挙手のうえ御発言願います。

○新居田弘文委員 色々拝見しました。骨子案については、これに枝をつけて、2,500字程度にまとめるということですので特に問題ないと思えます。

ただ、これとは関係ないのですが、一枚目の一番下にありますとおり色々な現地調査、北海道に行ってきました。バイオエタノール関係のプラント開発、北海道電力のすぐ隣の場所を拝見しましたね。埠頭に船をつけてそこから横浜などに運んでいるところ。原料はミニ

マムアクセス米を使って、キログラム当たり、だいたい 80 円でしたでしょうか。それでようやくペイして事業化している段階のものがある一方で、例えば奥州市で今ちょっとした試験管で多収穫米を利用してバイオエタノールの製造を行っているという、ちょっと現実から離れた取り組みもあるんですけれども、その意味合いがどうかなとちょっと感じたんです。この報告に書く書かないは別として、せっきくの機会ですので、やっぱり事業化ベースでやるべきだなという印象を受けました。以上です。

○亀卦川富夫委員長 確かに北海道のオエノンホールディングス、あれを見たときの間隔と今、奥州市でこれから進めていこうとしているものの差というものはあると思いますね。やる方からいくとああいうものを目指すんだろうけどもね、あそこまでいっているものに対しての、こっちの方が今にもいいものになるんだというね期待感と言ったらいいか、そういうものを見出すのは難しいというのは確かにありますね。

他にございますでしょうか。御感想でも結構でございます。

なければ、まとめに入りたいと思いますがよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○亀卦川富夫委員長 それでは、改めて御意見、御感想等ございますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○亀卦川富夫委員長 特に御意見がないようですので、骨子案をもとに、報告を行うこととし、詳細については、当職に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○亀卦川富夫委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

それでは、さきほども申し上げましたが、本委員会の調査は、本日をもって最後になるかと思っておりますので、この際、一言ごあいさつ申し上げます。

当委員会は、平成 21 年に設置されて以来、本日に至るまで、付託事件につきまして終始熱心に調査を積み重ねていただきましたことに対し、心から敬意を表する次第であります。

また、各委員の御協力によりまして、委員長の職責を無事果たしえたと、このように思っております。深く感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

本日は、これをもって散会いたします。委員の皆様、御苦勞さまでした。